



岡山城歴史講座



「岡山城“ひと”ものがたり」

岡山のまちの礎を築いた宇喜多直家公にはじまり、岡山城を築城した秀家公、
名君と称された池田光政公ら岡山城にまつわる城主と、その妻たち。
令和5年度の岡山城歴史講座は歴史学者、作家の3名がその人物像に迫ります。

「戦国女性の果たした役割とは」

「宇喜多秀家と豪姫」

第1回

10月1日[日]



©今井一詞

静岡大学名誉教授

おわだ てつお

小和田 哲男氏

Profile 1944年、静岡市生まれ。早稲田大学大学院文学研究科博士課程修了。現在、静岡大学名誉教授、文学博士、(公財)日本城郭協会理事長、岐阜関ヶ原古戦場記念館館長。専門は日本中世史、特に戦国時代史で、主著『後北条氏研究』『近江浅井氏の研究』のほか、『小和田哲男著作集』などの研究書の刊行で、戦国時代史研究の第一人者として知られている。NHK大河ドラマの時代考証も数多く手がけ、現在放送中の「どうする家康」も担当している。

時 間: 各日とも13:30～15:00

会 場: 能楽堂ホールtenjin9 [岡山市北区天神町9-24RSKイノベティブ・メディアセンター内]

受講料: 3回シリーズ 4,000円 [※初回到会場で徴収します。※全回出席されない場合も全額お支払いください。]

定 員: 200名 [※事前申込み必要。応募者多数の場合は抽選]

申し込み方法

※いただいた個人情報は、当企画以外には使用いたしません

右記専用フォームからご応募ください。

(電話での受付はいたしません) 応募者多数の場合は抽選とします。

当選者には聴講券を送付します。抽選の結果は聴講券の発送をもって代えます。

複数名まとめてのお申し込みはできません。

締め切り: 9月18日(月・祝)



専用フォーム

「宇喜多直家とおふく」

第2回

11月11日[土]



写真: 文藝春秋

直木賞作家・宇喜多直家主人公『涅槃』作者

かきね りょうすけ

垣根 涼介氏

Profile 1966(昭和41)年長崎県諫早市生れ。筑波大学卒業。2000年『午前三時のルースター』でサントリーミステリー大賞と読者賞をダブル受賞。2004年『ワイルド・ソウル』で、大藪春彦賞、吉川英治文学新人賞、日本推理作家協会賞と、史上初の3冠受賞に輝く。翌2005年、『君たちに明日はない』で山本周五郎賞を受賞。2023年『極楽征夷大將軍』で直木賞を受賞。その他の著書に『光秀の定理』『室町無頼』『信長の原理』『涅槃』など多数。

「池田光政と天樹院(千姫)」

第3回

12月16日[土]



就実大学

人文科学部表現文化学科長・同准教授

あさり なおみ

浅利 尚民氏

Profile 青森県出身。同志社大学大学院文学研究科博士課程前期修了。博士(文学)。2001年から林原美術館に勤務、学芸課長を経て、21年4月から就実大学に勤務し、23年4月から現職。専門は日本美術史・日本文化史、特に岡山藩主池田家に伝わった大名道具類の研究。共著に『石谷家文書 將軍側近のみた戦国乱世』など。



問い合わせ先 山陽新聞社事業本部 TEL086-803-8015

主催: おかやま城下町物語実行委員会

(岡山市、おかやま観光コンベンション協会、山陽新聞社)